

様式第6号その1（第5条関係）

2024年4月19日

（あて先）三鷹市議会議長

会派名

日本共産党三鷹市議会議員団

代表者氏名 大城 美幸

### 政務活動費実績報告書

令和5年5月23日付け5三議第199号で交付決定を受けた令和5年度分の政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 1 交付決定を受けた額                | 1,188,000 円 |
| 2 調査研究の成果及び收支決算書<br>別紙のとおり |             |



様式第6号その2（第5条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項目	金額(円)	説明
1 政務活動費	1,188,000	27,000円×4人×11ヶ月
2 その他の収入		
計	1,188,000	

(2) 支 出

項目	金額(円)	説明
1 研究研修費	48,080	「議員の学校スペシャル」参加費、「財政分析基礎講座」受講料など
2 調査旅費	174,350	会派視察に係る旅費、宿泊料など
3 資料作成費	0	
4 資料購入費	8,910	定期刊行物購入費
5 広報費	815,558	市政報告会チラシ、三鷹市議団ニュース作成料、市政報告会会場使用料など
6 広聴費	2,500	予算要望懇談会会場使用料
7 事務費	28,618	コピー機使用料、コピー用紙代など
計	1,078,016	

差引額(収入一支出)

109,984円 (残額分109,984円は市へ返還)

## 政務活動費 調査研究の成果

日本共産党三鷹市議団は、政務活動費を活用し、議員としての自らの研鑽のための学習や市民の要求実現のための調査・研究に取り組みました。市民の声を市政に届けるのが議員の一つの役割であることから市政報告や懇談会を行い、議会の様子を市民に知らせるとともに、市民のくらしの実態把握に努め、市民のみなさまからのご意見・ご要望の聞き取りに努めました。また、市の財政が健全な運営をしているか、地方自治の本旨である市民のくらしを守る役割を果たしているかのチェックも行ってまいりました。

2023年度は、特に「学校給食無償化」の要求実現に向けた取り組みとして、会派視察も行い、市長あて要望署名としての取り組みを行ってまいりました。2024年の3月議会で、「学校給食無償化」の条例提案を提案しようと条例(案)を作成し、各会派との共同提案を行う準備まで整っていましたが、新年度予算に盛り込まれることとなり、条例提案には至りませんでした。「学校給食無償化」が実現したしたことは、要望署名に協力いただいた市民と議員団の調査・研究による議会での論戦による大きな成果と考えています。

2023年度の主な調査研究について報告します。

- (1) 自治体分析の基礎講座に参加し、市財政が市民のくらしの防波堤としての役割を発揮するものとなっているかのチェックの視点を学びました。
- (2) 「住民と自治」を定期購読し、全国のとりくみを学びました。
- (3) 市政と市民のくらしが密接につながっていることの周知と共に、市民からの市政に対するご意見、ご要望を伺うことができる機会として、2023年7月17日と2024年2月17日に市議団4人全員がそろっての市政報告会を開催しました。予算・決算審査特別委員会や各常任委員会などで、寄せられたご意見・ご要望を取り上げ、予算要望書にも反映させました。
- (4) 9月6日に予算要望懇談会を開催し、各団体の方々から2024年度に向けての要望をお伺いし、コロナ禍を経て、物価高騰による影響などの現状についてお伺いしました。参加者から出された要望については、市議団の予算要望書に反映させました。
- (5) 市議団としては、学校給食無償化の実現に向けて、2024年1月18日、伊賀市に会派視察を行い、条例作成にむけ取り組むとともに、議会質問、予算・決算審査特別委員会の質問でも様々な視点・角度から取り上げ、予算要望としても提出しました。また、市民とともに市長あて要望署名に取組み、2回にわたって、市長に1535人分の要望署名を提出しました。

これらの取り組みにより、「学校給食無償化」が実現し、大きな成果となりました。

- (6) 介護保険料の据え置きと引き下げを連続して実施した三木市の介護予防事業について2024年1月17日、三木市を視察しました。高齢化率が高いにもかかわらず、介護保険料を引き下げることができるということは、それだけ元気な高齢者が多くいるということであり、歩いて行ける身近な場所でみっきいきいき体操が取組まれていることを学ぶことができました。三木市の取組については議会の質問や予算要望書に活かしました。
- (7) 2024年3月、議員団が公約として掲げてきた「学校給食費無償化」が実現することをいち早く市民に知らせようと、市政報告の市議団ニュースを作成しました。

以上